

# Job Hunting Experience

## 就職活動体験

### 紹介者

氏名 : N. B. D  
内定先 : メーカー  
所属 : 秋田大学大学院  
理工学研究科・システムデザイン工学専攻  
機械工学コース

# 目次

- 自己紹介
- 就職活動のTime Line
- 自己分析
- 業界分析
- エントリーシート
- 面接
- 日本での就職活動で苦労したこと、工夫したこと
- これから日本で就職活動をする留学生へのアドバイス

# 自己紹介

- 名前：N. B. D
- 出身：ベトナム
- 所属：秋田大学大学院・理工学研究科  
システムデザイン工学専攻  
機械工学コース
- 内定先：メーカー

# 就職活動

# Time

# Line

大学院1年生  
7月

2020年7月までに、はっきりと進路を決める。決めた進路によって今後の進み方が異なるため、早い段階から決めた方がいい。



大学院1年生  
8月

2020年8月、各就職ポータルサイト(マイナビ、リクナビ、Global leader(外国人専用))を登録し、情報収集を行う。



大学院1年生  
9月

自己分析及び業界研究を行い沢山の企業から気になる企業を探す。SPI、玉手箱等という適性検査の問題を解いて練習する。



大学院1年生  
10~12月

インターンシップに参加し、エントリーシート(ES)、適性検査、グループディスカッション(GD)を体験する。

大学院1年生  
3月

就活解禁。約40社プレエントリー。その中15社エントリーシートを提出し、適性検査を受ける。



大学院1年生  
2月

エントリーシートを出した2社の中、1社から面接連絡が届いたため、面接を受け、2次面接で不合格。



大学院1年生  
1月

早期選考の企業2社にエントリーシートを提出し、適性検査を受ける。



大学院2年生  
4~5月

エントリーシートを提出した企業の中、3社最終面接を受け、2社から内々定連絡。



大学院2年生  
6月

合格した2社の情報を深く調べ、自分の考えと合わせて内定承諾する。



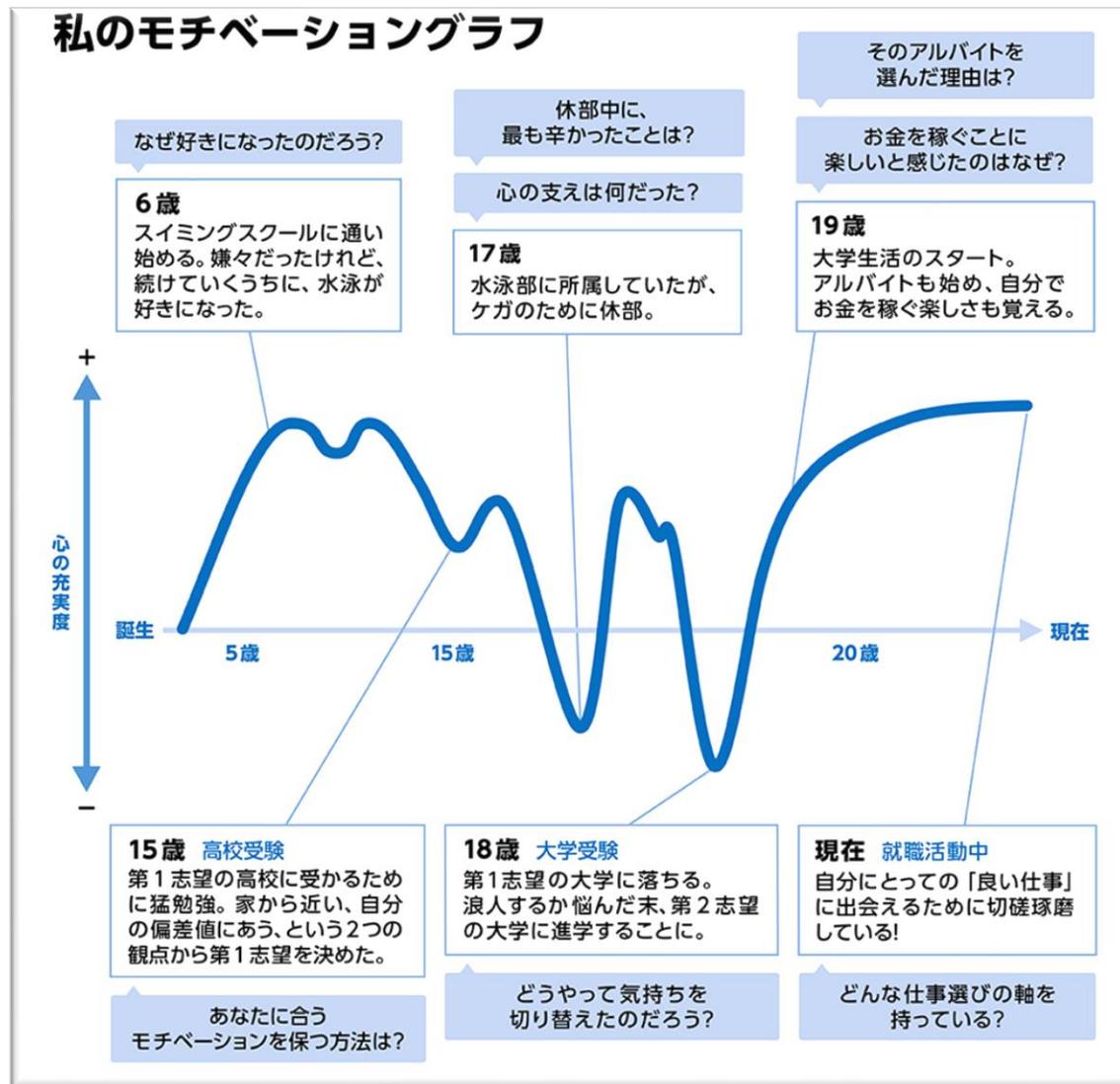
# 自己分析

エントリーシートでも面接でも、企業から選考で聞かれる問いは、すべては「あなたはどんな人か？」にひもづいています。

→自己分析によって、自身の特徴や性質を言語化しておくことで、自分のことを知らない企業の人に「自分はこんな人間です」とわかりやすく伝えることができます。

また、自分について客観的に理解できていると、自分に合う場所を選ぶときにも役立ちます。

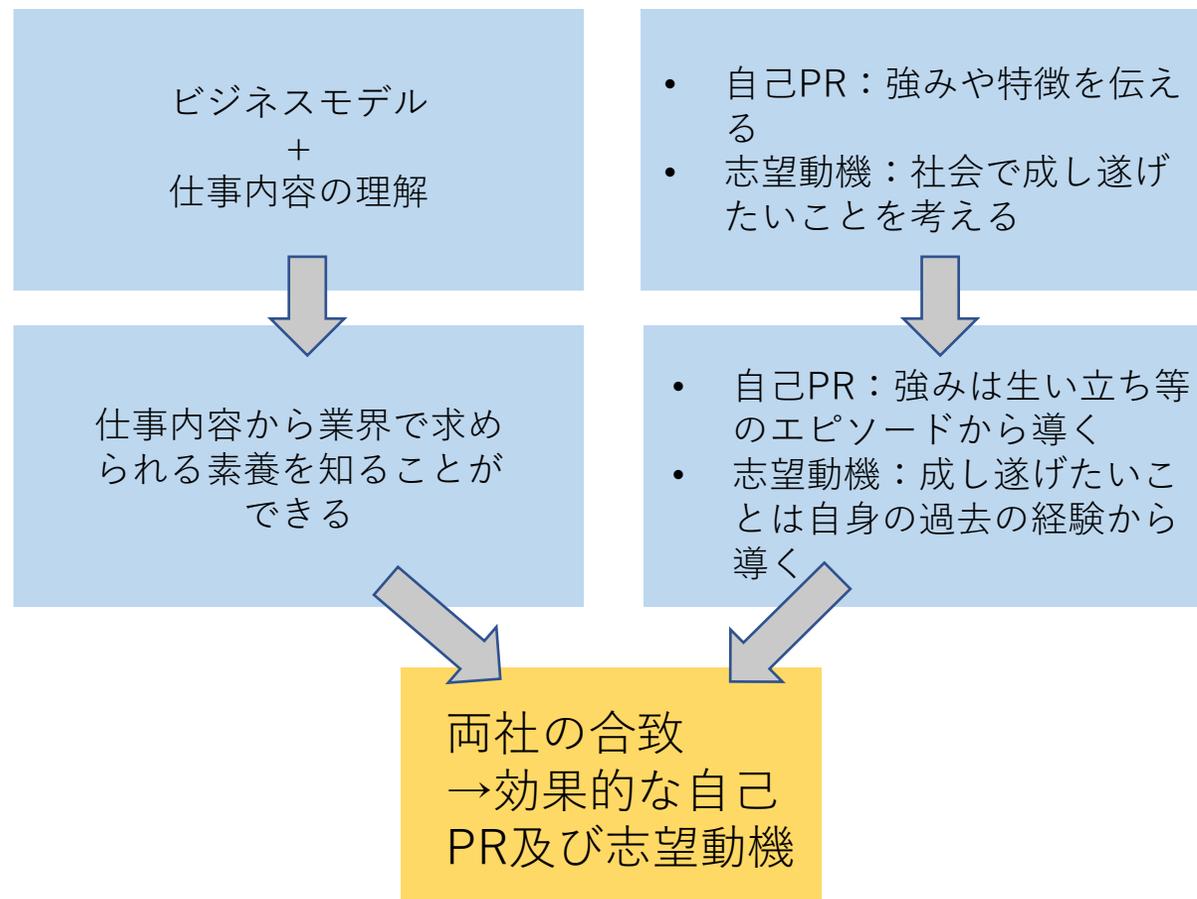
私は大学受験面接の時も、就活で自己分析の時も自分のモチベーショングラフを作成しました。簡単に言うと生まれてから現在までの思いついたすべての出来事（成功+失敗）をグラフにすることです。



# 業界研究

- 業界研究とは各業界のビジネスモデルを理解し、仕事内容をイメージすることです。

- 業界研究の目的  
企業に評価される自己PRを構築するため  
企業に評価される志望動機を構築するため



# エントリーシート 筆記試験、適性検査

- 面接官の記憶に残る文章を書くことを心掛けてください。
- 難しい日本語よりも、わかりやすく、内容がまとまっていることが大事。
- 就職推進担当では、エントリーシートなどの提出書類の添削を行っています。

**\*事前予約必要**

## 適性検査の対策

- SPI、玉手箱、GAB、CAB等様々な種類があるため対策本を購入して練習した方が良い
- また、マイナビ、リクナビでのWEB模擬テストも活用



# 面接

面接はコロナ渦でオンライン面接が広がっています。

→対面面接等にはないことまで注意しないとイケない（背景、音声、ネット回線）。

会社によって一部またはすべてオンライン面接を実施しています。

→トラブルが発生した場合、速やかに採用担当者に連絡する（ネットが繋がらない理由で落とすことはない）。

個人面接：学生1人に対して行われます。

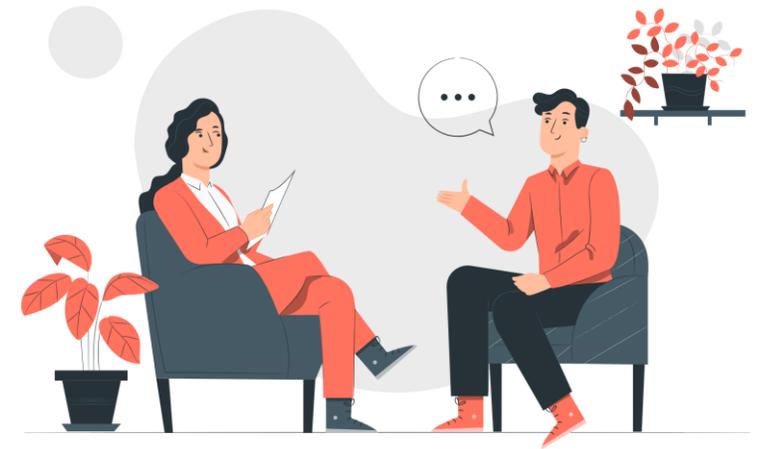
→30分～1時間の間、すべての時間を使って自分を表現できる。

集団面接：学生2～3人同時に面接を受けます。（1次面接と2次面接が多い、最終面接はほとんど個人面接）

→短い時間で様々なことを見せないといけない。

グループディスカッション：グループを作り、与えられたテーマについて討論を行います。

→役割分担は大切（リーダー、メモ担当等）。そうでない人でも良く声を出して、盛り上がらせるのは大事。



# よく聞 かれる 質問

- 自己紹介
- 自己PR
- 志望動機
- 学生時代に頑張ったこと
- 留学理由
- 研究内容（特に大学院生）
- 研究で困難なところ
- 就活軸
- 仕事のイメージ
- 夢
- 5-10年後の自分
- 答えた内容の深堀
- 逆質問

(逆質問はネットを活用して印象が残る質問を探す)



# 日本での就職活動で苦勞したこと、工夫したこと

- 苦勞したこと
  - オンライン面接（雰囲気を読みにくい、面接官の反応が分かりにくい）
  - 言語の壁：言いたいことをうまく言えない。それでさらに緊張してしまう。
- 工夫したこと
  - 自分が外国人であることを利点にして自己PRすること
  - 面接を受ける前にしっかり準備し、面接練習を行う。



# これから日本で就職活動をする留学生へのアドバイス

- 自分を信じること
- しっかりと準備すること
- 万が一の場合、焦らず正しい行動を取ること
- 周りの情報や組織（就職推進担当等）を効果的に活用すること

日本の就職活動は、場合によっては長期間にわたり、また何十社もエントリーして試験や面接をするので、体力的にも精神的にも疲れます。1人では大変なので、先輩や日本人の友達と情報交換したり、大学の就職推進担当の職員さんに相談したりすることで、良い情報や元気をもらうことができます。

また、内定が一つももらえないと不安になります。しかし、必ず両想いになれる会社があると思うので、絶対にあきらめない執念が必要だと思います。様々な媒体を見て根気よく情報収集に努めるべきです。

